パイプハウス等の雪害防止対策について

平成30年2月16日福井県農業総合指導推進会議

- ・安全確保を最優先に作業を行う。
- 雪どけの際の沈降力等によるハウスの被害拡大を防止するため除雪等を急ぐ。

1 安全確保

- ・除雪作業は安全を確認してから行う。
- ・パイプや被覆資材への負荷や変形がみられる場合は内部への進入は控える。
- ・作業は必ず複数人で行い、積雪直下では作業しない。
- ・破損したパイプは外した時に跳ね返りで怪我をすることがあるので注意する。

2 除雪

- ・ハウス肩部や腰部のパイプが雪に埋没したまま放置しておくと、<u>融雪の際の沈降力</u>により変形、破損するので、早急に掘り出すか、雪を踏圧する。
- ・<u>ビニールを除去しているハウスでも、屋根や</u>肩部のパイプが雪に埋設したまま放置 すると沈降力により変形するので、早急に掘り出す。
- ・次の積雪に備えてハウス側面の除雪を急ぐ。



肩部や腰部の除雪、踏圧



雪に埋没したパイプハウスの堀上げ